



もくじ



1 みんなの たからもの 3

がくしゅう 1 ぼく・わたしの たからもの 4
~たからものを えに かこう~

がくしゅう 2 ぼく・わたしの たからもの 5
~たからものを しょうかいしよう~

がくしゅう 3 きんぎょ 金魚がきえた 6

2 みんな生きている 13

学習 1 もっと草花にしたしもう 14

学習 2 アオギリ 16

学習 3 アオギリさんたちへの手紙 20

3 せんそうがあったころの広島 21

学習 1 子どもたちのくらし ~今と昔~ 22

学習 2 家族のきずな 24

学習 3 引きさかれる家族 27

さがしてみよう 広島市にのこる ひばく樹木 30

1 みんなの たからもの



★ぼく・わたしの たからもの



いちばん
たいせつに
している
たからものを
かこう。



きみが いちばん たいせつにしている たからものは
なんですか。

わたしたちは、たくさんの たいせつな「もの」や「ひ
と」などに かこまれて いています。

しかし、ひろしまでは、ひとびとの たいせつなものが
いっしゅんにして きえてしまうできごとが ありました。

そのときの ひとびとの きもちを おもい、へいわの
たいせつさについて かんがえましょう。

◆1ねんせいの がくしゅうの ながれ

きづく がくしゅう 1 ぼく・わたしの たからもの
~たからものを えに かこう~

かんがえる がくしゅう 2 ぼく・わたしの たからもの
~たからものを しょうかいしよう~

つたえる がくしゅう 3 きんぎょ 金魚がきえた



かくしゅう **1** ぼく・わたしの たからもの
 ~たからものを えに かこう~

あなたの たからものは なんでしょう。
 おたんじょうびに もらった おもちゃでしょうか。
 だいすきな おともだちも たからものですね。
 かぞくで いった りょこうの おもいでも たからもので
 は ないですか。



ぼく・わたしの たからものは、
 _____ です。
 なぜ それらが たからものかと いうと、

 _____ からです。

かくしゅう **2** ぼく・わたしの たからもの
 ~たからものを しょうかいしよう~

みんなは どのような たからものを かいたのかな。
 かいた たからものを ともだちに しょうかい しましょう。



★はっぴょうを きいて すてきだなと おもう ともだちの
 たからものを かこう。

がくしゅう **3** きんぎょ 金魚がきえた

あなたの たいせつな ものが ぜんぶ なくなって しまったら・・・。
 そのときの ひとびとの きもちを かんがえて、せんそう の おそろしさや へいわの たいせつさについて かんがえましょう。

金魚がきえた

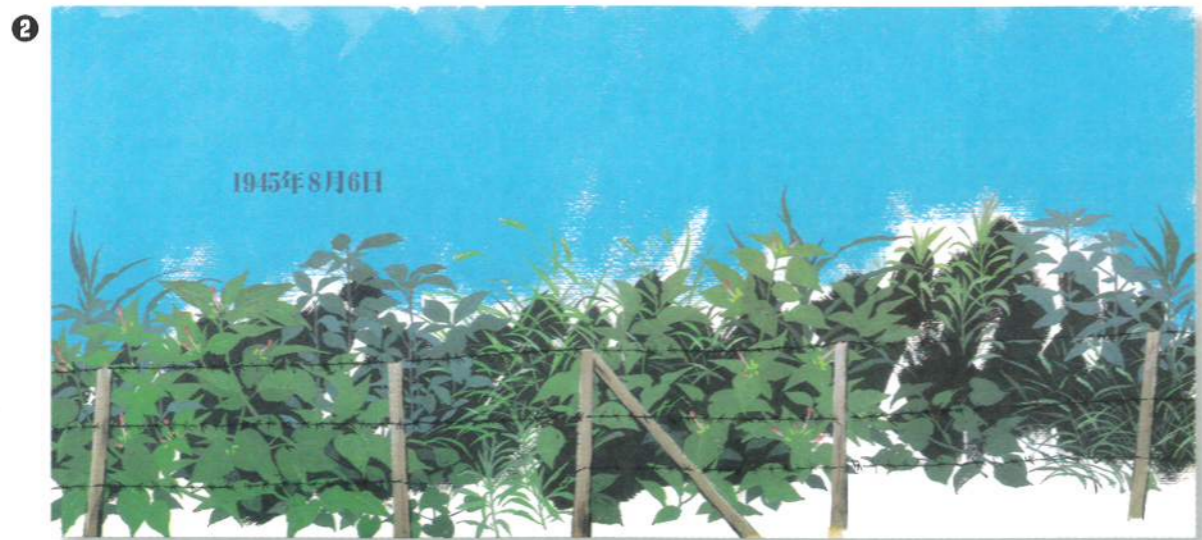
山本美次・作/絵
吉野和子・作



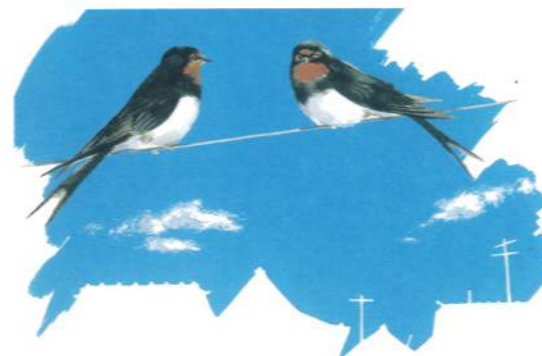
① プレレーク
 みんなのお家には、かわいい動物がいるかい。
 ひらひらおひれをゆらして泳ぐ、
 まっ赤な金魚がいるかい。
 まことちゃんのお家には、
 大きな目をした金魚がいたよ。
 えんの下では、猫のぷーちゃんが、
 かわいい子猫を3びき生んでいたよ。

それがね——

朝からとってもあつい日だった。
 何が何だかわかんないけど、
 すっごいことがおこったんだ。
 金魚ばちも、金魚も水もいっしゅんに、
 消えてしまったんだ——



かわいいね。
 いるよ、いるよ、まことちゃんの まわりに！



ぷーちゃん おはよう



まこと、虫とりに いくぞー！

にいちゃん ぼくにも取らせて



きれいだね。
 さいたよ、さいたよ、まことちゃんの まわりに！



5

けがしたんね、おにいちゃん。

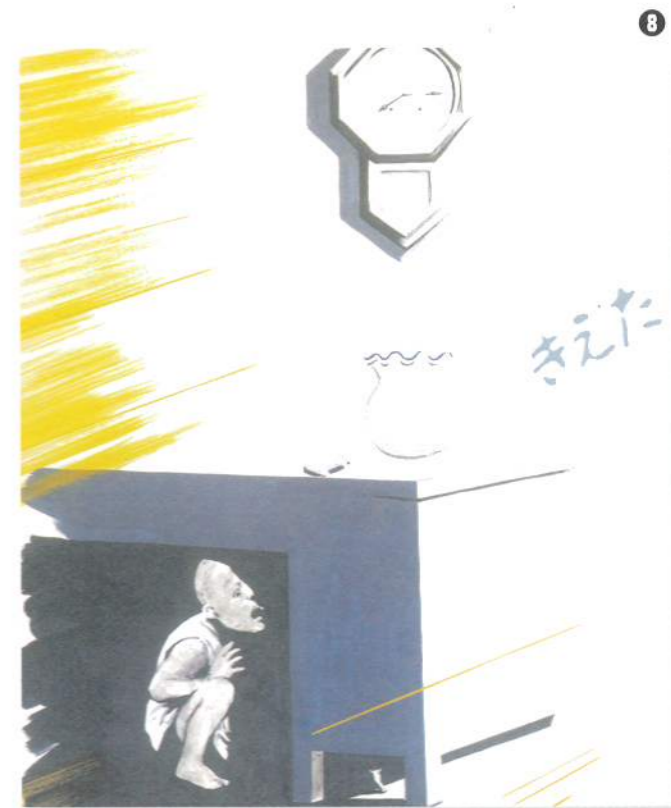


6

ぼくはここよ。
 ほらほら、ぼくの かつこいい くるまの した！
 ぼくの かわいい きんぎよの した！



7



8



9

1945(しょうわ20)ねん 8がつ 6か 8じ 15ふん



10



11

こわれる・・・
きえる・・・



12

ぼくの・・・
まわりから・・・



13

かわいくて・・・
きれいで・・・



14

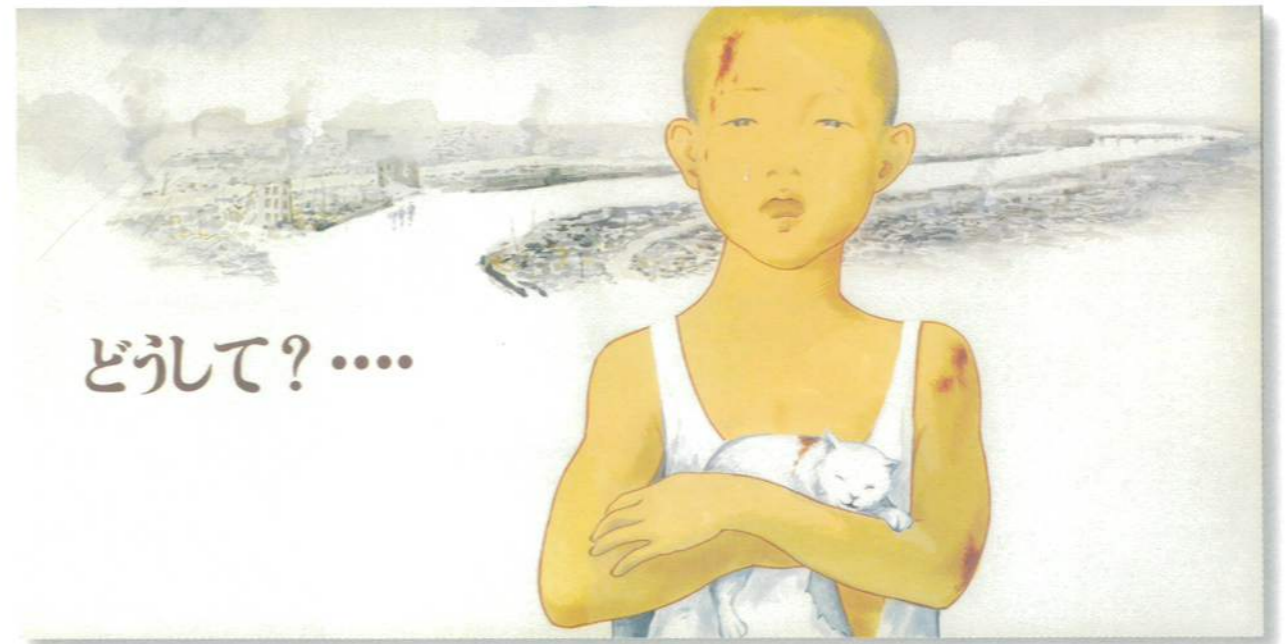
たいせつな
ものが・・・



15



16



17

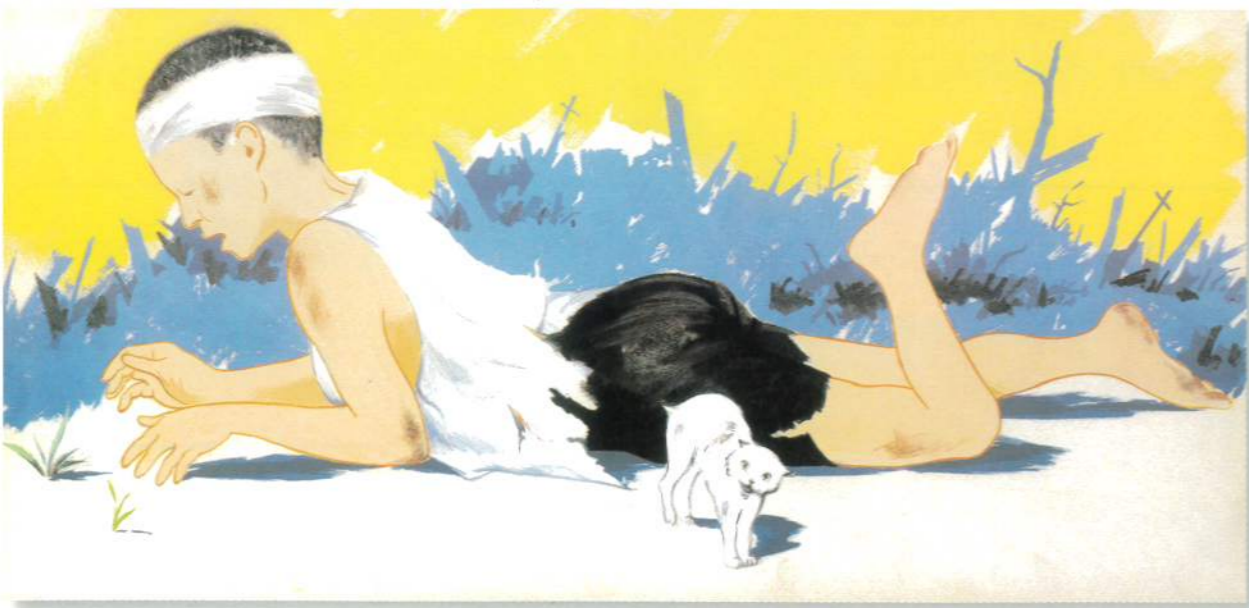
どうして?

A large rectangular box with a black border and a white background, containing four horizontal blue lines for writing. A speech bubble tail points from the top right corner of the box towards the painting above it.



18

あっ・・・ こんな ところに・・・



19

2 みんな生きている



原子^{げんし}ばくだんできずついたのは、人間^{にんげん}だけではありませ
ん。草も木もどうぶつたちも、いのちあるものすべてがきず
つきました。

草や木のいのちをかんじましょう。そして、原子ばくだん
にたえ、強く生きぬいた、アオギリの思いを考えましょう。

◆2年生の学習^{がくしゅう}のながれ



ひろしまへい きねんこうえん
広島平和記念公園にあるアオギリ



アオギリのみ

(写真/アマナイメーヅ)

学習 1

もっと草花にしたしもう

花だんのやさいや花をじっくり見てみよう。
さわってみよう。においをかいでみよう。

くわしく みる においを かく やさしく さわる



春の草花



タンポポ



アブラナ

夏の草花



ヒマワリ



アサガオ

秋の草花



ススキ



キンモクセイ

冬の草花



ツバキ



ネコヤナギ

(写真/アマナイメーゾ)

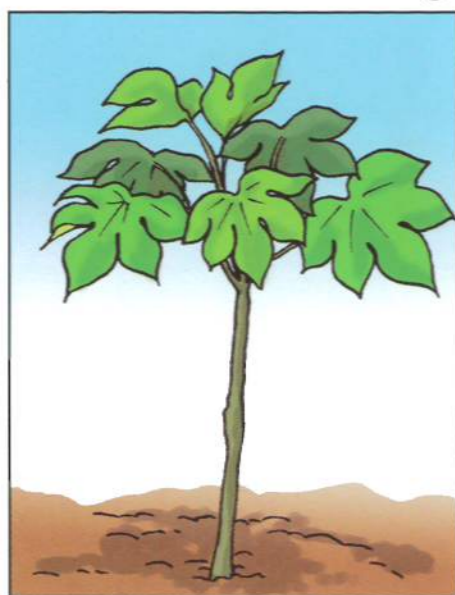
くわしくしらべた草花

* 思ったことやかんじたことを書きましょう。

学習 2 アオギリ

アオギリのお話を聞いて、考えたことを話し合ひましょう。

◆アオギリ

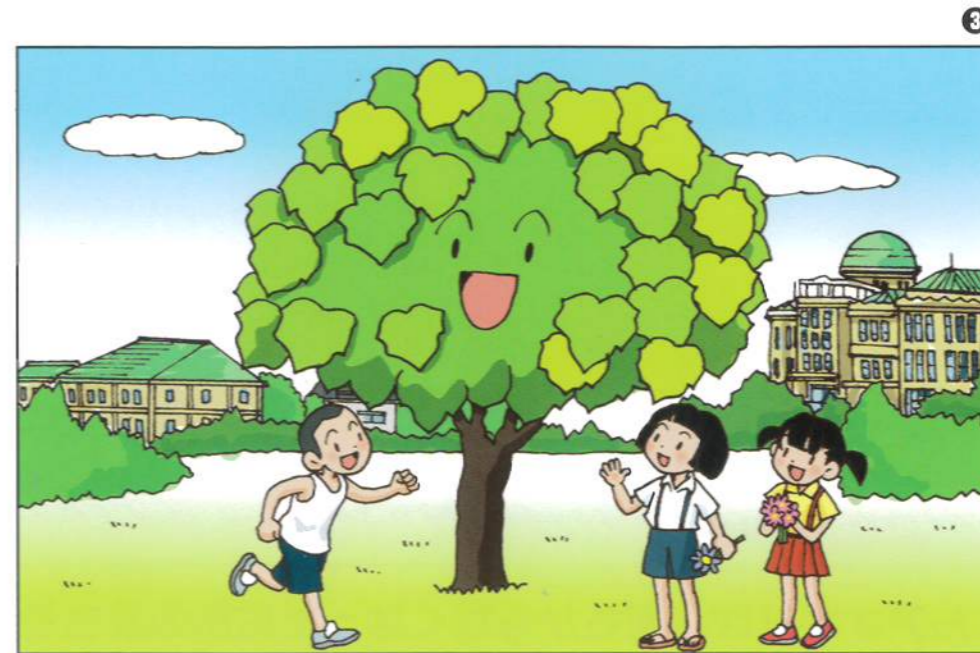


わたしは、アオギリ。



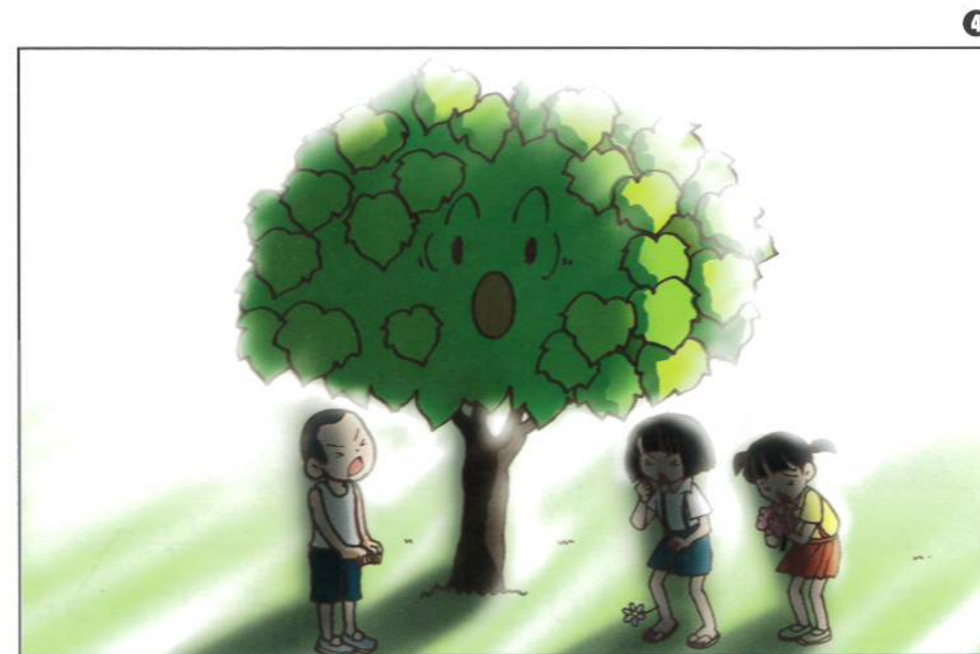
これがわたしのお母さん。
へいわきねんこうえんに
いるのよ。
今日は、お母さんアオギリ
のお話をします。

お母さんアオギリは、むかしからこの^{ひろしま}広島に生きているのよ。
お母さんの木^こかげが、みんな大^す好き。
おしゃべりをしたり、歌ったり、あそんだり・・・。



それなのに、あの朝・・・。

1945(しょうわ20)年8月6日8時15分



ひろしま
広島のみちがもえ、子どももおとなも、犬もねこも、草も木も
何もかもが、やけど、たくさんのいのちがうばわれてしまっ
たの。



お母さんアオギリは、何もかもなくなった広島のみちを、
なみだをながしながら見つめていたの。

それでもね、このような広島のみちで、人びとは、いっしょう
けんめいに、がんばって生きたのよ。



ある日・・・。
お母さんアオギリを見た人びとが、うれしそうに言ったの。
「あっ、新しいめが出てる！ アオギリさん、生きてる！」って。

お母さんアオギリの思いを
たくさんの人につたえるた
めに、わたしたち子どもア
オギリは、日本だけでなく、
いろいろな国の学校や地
いきにも、たび立ったの
よ。

きっと、あなたの学校や地
いきにも、わたしたち子ど
もアオギリがいるはず。
みんな会いに来てね。



★「アオギリ」のお話を聞いて、心にのこったことや思ったことを書
きましょう。

Handwriting practice area with a dotted border and a pencil icon in the top right corner. The area contains five horizontal dashed lines for writing.

学習 3 アオギリさんたちへの手紙

アオギリのお話を聞き、あなたがかんじたことや思ったことを手紙に書いて、アオギリさんたちへつたえよう。

3 せんそうがあったころの広島



(作/中沢啓治氏 提供/広島平和記念資料館)

せんそうがあったころの広島にも、みなさんと同じ年ごろの子どもたちが、たくさんくらしていました。

せんそうがはげしくなったころの広島の子どもたちは、どのような暮らしを、どのような思いでしていたのか考えてみましょう。

◆ 3年生の学習の流れ

気づく
学習1
 子どもたちの暮らし
 ~今と昔~
 ・今と昔の学校の様子
 ・今と昔の食べ物

考える
学習2
 家族のきずな
 ・「はだしのゲン」からの手紙(1)

伝える
学習3
 引きさかれる家族
 ・「はだしのゲン」からの手紙(2)

学習 1 子どもたちの暮らし～今と昔～

せんそうがはげしくなったころ、子どもたちは、どのような暮らしをしていたのでしょうか。今の暮らしとくらべてみましょう。

昔



せんそう中 校庭でイモをさいばい

(所蔵/山之上弘子氏)



せんそう中 校庭でブタをしいく

(所蔵/山之上弘子氏)



せんそう中の配給

(提供/毎日新聞社)



せんそう中の給食

昭和17年

すいとんの味噌汁

今



校庭の花だんで花をさいばい



校庭でなわとび



現代の買い物



現代の給食

(提供/広島市立みどり坂小学校)

★今の暮らしと昔の暮らしをくらべて、気づいたことを書きましょう。

Blank writing area for comparing past and present lifestyles.

知っているかな？ 戦争中の食べ物

戦争が長引き、人々の生活はだんだん苦しくなっていました。食料や衣服、燃料など生活に欠かせない物も、自由に手に入れることができなくなり、人々は政府から配られる切符を持って、きめられた時間に配給を受けるようになりました。配給とは、ひとりひとりに物の量がわりあてられ、その範囲でお金を払って手に入れるというものです。

食糧不足が深刻となる1943(昭和18)年ごろからは、庭の一部を利用して野菜やイモを栽培する家庭菜園作りが盛んになりました。学校の校庭でも、イモやカボチャを栽培しました。

このように、戦争中や戦争に負けた直後は、生きるために必要な物を、十分に手に入れることができない時代でした。人々は配給をおぎなうために、いなか買い出しに出かけ、お金のほかに着物などと交換して、食べる物を手に入れました。

(広島平和記念資料館ホームページ「キッズ平和ステーション」より)

卵 1941 10月	塩 1942 1月
魚 1941 11月	醤油 1942 1月
さつまいも 1941 12月	みそ 1942 1月

▲配給・切符制になった物と時期

★学習をして分かったことや、思ったことをまとめましょう。

Blank writing area for summarizing what was learned.

学習 2 家族のきずな

せんそうがはげしくなったころ、広島の子どもたちは、家族とどのような思いでくらしていたのでしょうか。



この「はだしのゲン」は、広島の子どもたちをテーマにした漫画です。日本だけでなく、世界にも発信されています。
「ゲン」は、作者の中沢啓治さんご自身です。
「ゲン」の家族の話を通して、このころの広島の子どもたちの生活や思いについて考えていきましょう。

(作/中沢啓治氏 提供/広島平和記念資料館)

「麦のように強くなれ。」それが父ちゃんの口ぐせだった。

◆「はだしのゲン」からの手紙(1) ~マンガ「はだしのゲン」より~

1945(昭和20)年。主人公のゲン(中岡元)が小学2年生だったころ、日本は、長いせんそう中だった。兵たいさんにしっかり米を食べてもらって、せんそうに勝つために、ゲンたちは米ひとつぶたりとも自由には食べられなかった。

ゲンと弟の進次は、毎日ハラペコ。「はらがへった。はらがへった。」が二人の口ぐせだった。



食べものがないので、一つのイモを家族みんなで分けて食べるなんて、あたり前のことだった。



ある時、おなかの中に赤ちゃんのいる母ちゃんが、えいようが足りなくてたおれた。

ゲンは、母ちゃんにおいしいものを食べて元気になってもらいたくて、学校には行かず、毎日町角で進次といっしょに、「ろう曲」のまねごとをした。そして、かせいだお金をこっそりと家に投げこんだ。

また、「コイを食べると元気になる。」と聞くと、二人で近所の庭にしのびこみ、こっそりと池でコイをつったりした。



*ろう曲：三味線という楽きをばんそうに使って、物語を語るえんげいの一つ。

そして、つったコイを持って、二人が家に帰ってみると…



ゲンは、毎日おなかをすかせていた。けれども、麦のように強く、毎日を生きていた。そして、どんな時でも、家族といっしょにいるのが何よりも好きだった。

★家族に「ろう曲」を見せながら、ゲンはどのようなことを思ったでしょうか。

学習3 引きさかれる家族

原子ばくだんによって、家族の命をうばわれた子どもたちの思いを考えてみましょう。

◆「はだしのゲン」からの手紙(2)～マンガ「はだしのゲン」より～

1945(昭和20)年8月6日。その日は朝から夏の日ざしがてりつけるあつい日だった。ゲンは、家に帰ったら進次と遊ぶやくそくをして、一人で学校に向かった。

午前8時15分、ちょうど校門のあたりに来た時だった。話しかけてきた近所のおばさんといっしょに、ゲンが空を見上げたそのしゅんかん…。

ピカーッ、ゴワーッ!

目もくらむような光をあび、ものすごい風にふきとばされて、ゲンは、いしきをうしなった。

「ううう、どうしたんじゃ。」

しばらくして、気がつくと、ゲンは、学校のへいの下にたおれていた。

せなかのれんがや木切れをはらいのけて、はい出してみると…、運よく、大きなけがはしていなかった。しかし、さっきまで話をしていたおばさんは…、しんでいた。

広島町は、一しゅんにしてこわされ、めちゃくちゃになった。あちらこちらで火が上がり、あっという間にもえ広がり始めた。



① (撮影/米軍 提供/広島平和記念資料館)



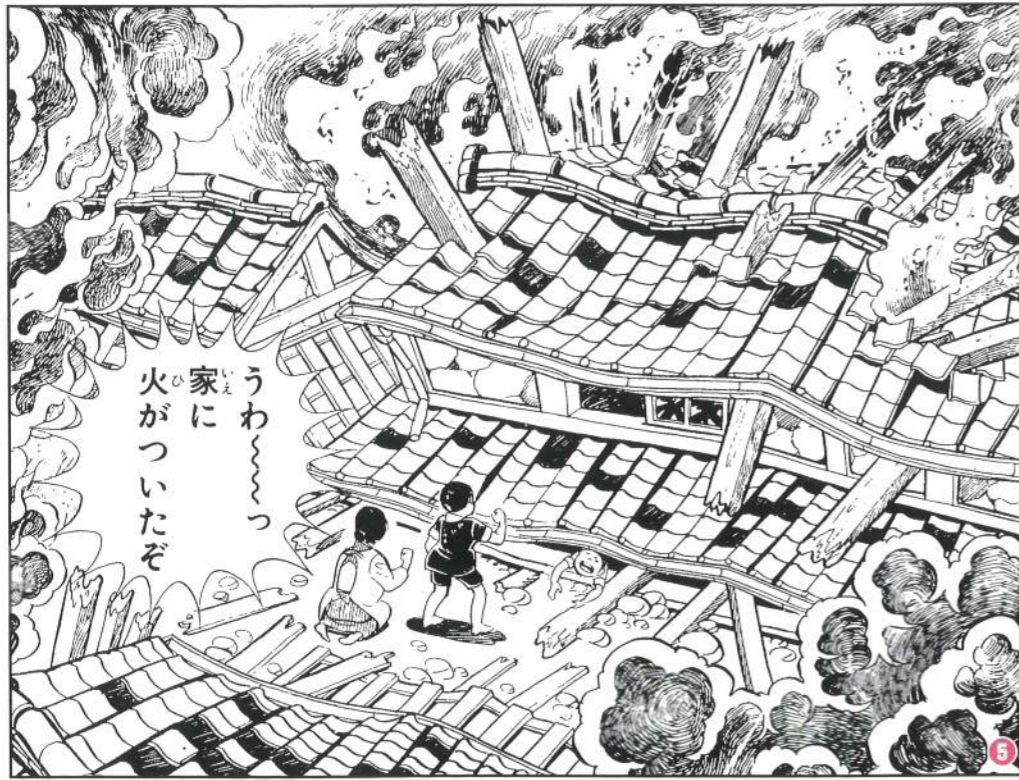
② (作/中沢啓治氏 提供/広島平和記念資料館)

やっとのことで家にもどったゲンは、ぶじだった母ちゃんといっしょに、家の下じきになった父ちゃん、ねえちゃん、進次を助け出そうとした。

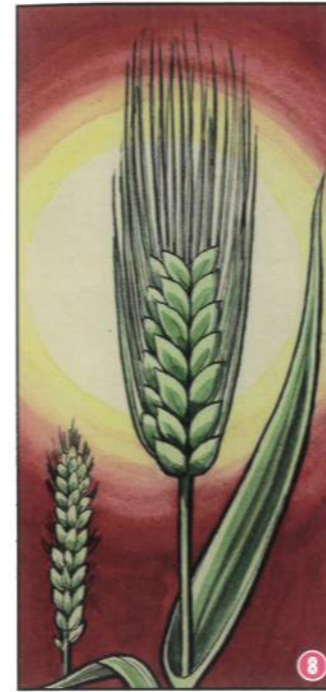
しかし、どうやっても、みんなを助け出すことができなかった。



ついに、ゲンの家にも火が回ってきた。



父ちゃん…。進次…。ああ。 いったい、どうしたらいいんだ。



今年もまた、8月6日がやってくる。

父ちゃん、ねえちゃん、進次…。

あの日、あの原子ばくだんさえ落とされなかったら…。

家族いっしょにあの家で、ずっとくらしていたらろう。

せんそうさえなかったら…。

今も家族なかよく、わらってくらしていたらろう。



★進次や父ちゃんのことを聞きながら、ゲンはどのようなことを思ったでしょうか。



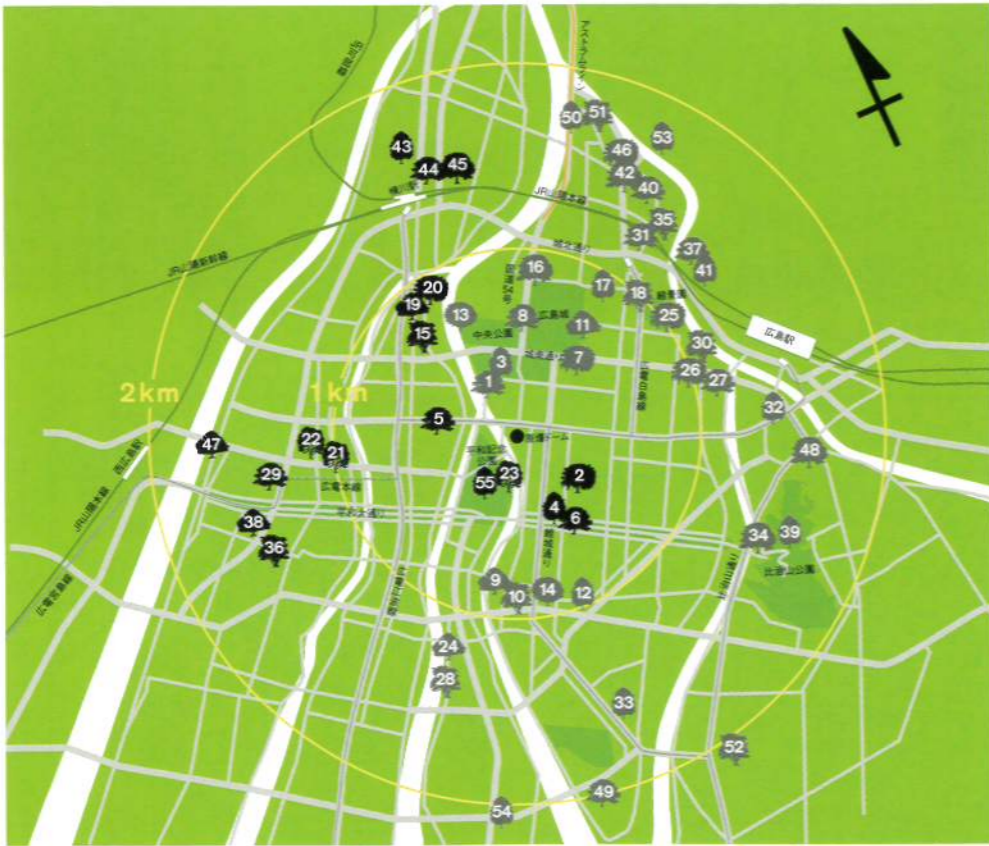
A large rectangular area with a blue dashed border, containing several horizontal dashed lines for writing.

さがしてみよう

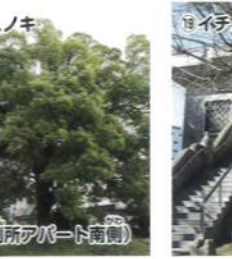
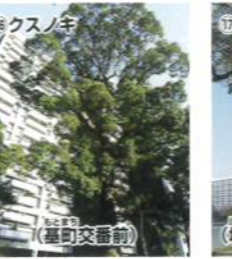
広島市にのこる ひばく樹木

あなたの学校や家の近くには、どのようなひばく樹木があるのかな？ さがしてみよう！

※樹木が2種類以上あるときは、太字にしています。



(提供/緑の伝言プロジェクト)



(撮影/有田武志氏 植田裕子氏)

小学校
1・2・3年

平成24年度

ひろしま へいわノート

～いのち・しぜん・きずな～

編集協力

◆平和教育プログラム策定委員

中山 修一 水本 和実 阪谷 文子 堀江 清二 河野 宏樹 平尾 順平
塚本 修一 片山 英昭 佛圓 弘修

◆平和教育プログラム策定部員

内田 友和 大下あすか 川口 大輔 神原久美子 小松 宏江 福永 麻美

●著作・編集 広島市教育委員会

●発行 広島市教育委員会 広島市中区国泰寺町1-4-21

●発行年月日 平成24年3月

●印刷・製本 株式会社テンプリント

●分類登録番号 広X3-2011-851

●表紙さし絵 広島市立基町高等学校普通科創造表現コース3年 松村 知美

ねん くみ なまえ



ひろしま へいわノート

～いのち・しぜん・きずな～

小学校
1・2・3年